

2018年10月1日  
北海道電力株式会社

## 「北海道胆振東部地震対応検証委員会」の設置について

9月6日未明に発生した、胆振地方を震源とする平成30年北海道胆振東部地震により、北海道全域の約295万戸のお客さまが停電となり、大変なご不便、ご迷惑をおかけいたしましたこと、あらためて、深くお詫び申し上げます。

当社は、本日、社長を委員長とする「北海道胆振東部地震対応検証委員会（以下、「本委員会）」を設置することといたしましたので、お知らせいたします。

本委員会は、電力広域的運営推進機関の「平成30年北海道胆振東部地震に伴う大規模停電に関する検証委員会」にて議論・検証がなされている事実関係なども踏まえつつ、電気事業者として大規模停電への対応などを自ら検証し、今後の電力安定供給や情報の発信・連携に活かしていくことを目的に設置するものです。

本委員会には、客観的かつ専門的な観点から評価をしていただくため、弁護士、電力系統技術、技術に関するコミュニケーションを専門とする外部の有識者の方々にも委員として加わっていただく予定です。

当社としては、本委員会での検証を通して、より安定的な電力を供給していくための体制強化につなげてまいります。

本委員会の概要は、以下のとおりです。

### 1. 目的

今般発生した、平成30年北海道胆振東部地震への対応の的確な検証を進め、道内全域停電の再発防止策を検討し、今後の電力安定供給や情報の発信・連携に活かしていく。

### 2. 構成員

	氏名	現職
委員長	真弓 明彦	当社取締役社長
委員長代理	藤井 裕	当社取締役副社長（送配電カンパニー社長）
委員	北 裕幸 長野 浩司 橋本 智	北海道大学大学院情報科学研究科 教授 一般財団法人 電力中央研究所 社会経済研究所長 弁護士
	当社役員	

### **3. 検証課題**

- (1) これまでの設備対応、設備運用
- (2) 停電発生時の対応、事故復旧対応
- (3) 情報発信、関係機関との連携
- (4) (1)～(3)に関する所要の再発防止策

### **4. 今後の予定**

10月中旬を目途に第1回委員会を開催する予定。

電力広域的運営推進機関での検証状況なども踏まえ、11月上旬目途に中間報告を取りまとめ、12月末日途に最終報告を取りまとめる予定。

(参考) 社外有識者略歴

以 上

社外有識者略歴

氏名・役職	略 歴	
<p>北海道大学大学院 情報科学研究科 教授</p> <p>きた ひろゆき 北 裕幸</p>	<p>1988年</p> <p>1989年</p> <p>1994年</p> <p>1995年</p> <p>2004年</p> <p>2005年</p>	<p>北海道大学大学院工学研究科電気工学専攻修士課程終了 同博士後期課程進学</p> <p>北海道大学工学部 助手</p> <p>博士（工学）・北海道大学</p> <p>北海道大学大学院工学研究科 助教授</p> <p>北海道大学大学院情報科学研究科 助教授</p> <p>北海道大学大学院情報科学研究科 教授</p>
<p>一般財団法人 電力中央研究所 社会経済研究所長</p> <p>ながの こうじ 長野 浩司</p>	<p>1987年</p> <p>2003年</p> <p>2004年</p> <p>2006年</p> <p>2011年</p> <p>2012年</p> <p>2016年</p>	<p>東京大学大学院工学系研究科原子力工学科専攻修士課程終了 財団法人 電力中央研究所入所</p> <p>博士（工学）・東京大学</p> <p>社会経済研究所 上席研究員</p> <p>社会経済研究所 地域経済・エネルギー技術政策領域リーダー 上席研究員</p> <p>企画グループ上席（災害支援研究担当・研究プロジェクト企画担当）</p> <p>社会経済研究所 電気事業経営領域リーダー・エネルギー技術評価領域リーダー 上席研究員</p> <p>研究参事 社会経済研究所長</p>
<p>弁護士</p> <p>はしもと さとし 橋本 智</p>	<p>1986年</p> <p>1991年</p> <p>1995年</p>	<p>北海道大学法学部卒業</p> <p>弁護士登録（札幌弁護士会）</p> <p>橋本智 法律事務所</p>

（敬称略、50音順）